

第21回京都山城便教会

令和2年2月24日（月）

第21回京都山城便教会は、向日市立勝山中学校で実施しました。参加者は16人。今回は大阪の先生方も多く駆けつけてくれました。最初の開会式で、鍵山秀三郎相談役のことや京都山城便教会の思いについて、お話をさせていただきました。この会は、思いありきです。鍵山相談役が教育に託されていること、それを教師が実践していくこと、そういったものをトイレ掃除から感じていただければと思ってお話いたしました。また今回お世話になる勝山中学校の校長先生は3月で定年退職を迎えられ、今まで使わせていただいた御礼もこめてトイレ掃除をスタートしていきました。先生方からは、「よし、やるぞ」という気持ちがあふれ出ていましたが、いざ便器の前に立ち、尿こしを見ると怯む姿も。でも覚悟が決まれば、あとはひたすら磨くのみ。時間が経つにつれ、静かになり、凜とした空気が流れ出します。何も言わなくてもそういう雰囲気になるのですから不思議です。



だんだん便器と顔が近づいていく。交流会で「トイレがだんだん好きになっていきました…」という方もおられました。

<Before>

<After>



掃除をしていると少し手を加えるだけで、輝きを取り戻すことがわかります。そして、ついつい後回しにしていることに気付かされます。子どもたちに少ししかかわるだけで、子どもは変わります。かかわれなくても子どもたちの安心と安全を祈るだけで変わるのだと思います。変えようと思ったら変わらない。でも自分の中で何かが変われば、まわりが勝手に変わっていく。それが自然の摂理であり、本質なのではないでしょうか。

また掃除をしながら、校長先生をはじめ、管理職の先生方のありがたみを感じました。今回集まれた方はトイレ掃除をしようと思って来られています。メインは便器です。でも、それだけではトイレ掃除はできません。トイレ掃除をやっている間に、次の準備をやることも必要です。学校でその役割をいただいているのが管理職の先生方です。担任が教室で子どもたちと向き合っておられる裏側で、管理職の先生はその活動ができるように色々なことを整えていただいていることに気付きました。勝山中学校の校長先生も、ずっとそうやって子どもたちと先生方を見守ってこられたのだなと感じることができ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

【参加者感想】

- ・汚れのひどいところからやろうか、それともまんべんなくやろうか考えていると、生徒にも同じことが言えると思った。手のかかるところにかかわるべきか、それとも全体を見ながら指導すべきか、そして自分はいつもどうだろうかと振り返ることができた。
- ・継続することの大切さを感じる。きつい汚れに対して手を加えるのは、厳しい指導のできる先生であり、でもみんながそれをできるわけではない。その間にスポンジでも取れる汚れをきちんと取る役割の先生がいることも必要だと感じた。そして、スポンジでも取れる汚れを毎日きちんと掃除すること、その継続こそが大事であると感じた。
- ・覚悟を決めて来たはずだが、いざトイレの尿こしを見ると怯んでしまう自分がいた。今年度、転勤してきて、「やるぞ」と覚悟を決めていたはずなのに、「システムが違うから」「前の学校では…」という言い訳が出ている自分と重なった。結局、覚悟が決まっていなかったのではないかな。2年目は覚悟を決めて臨みたい。
- ・冷たいとか臭いという感覚を持たずに取り組もうとしたが、最初はそう思ってしまった。しかし、やっていくうちに、冷たいとか臭いという感覚がなくなった。日常でも、「しんどいな」「嫌だな」ということをなくせるように、つまりは、そういったしんどいことをすることが当たり前になるように習慣化させていきたい。
- ・今までの教員人生を振り返ると、自分にも転機があった。今の学校に赴任した時に、荒れている学校現場の中で、教師目線で指導していた。だから、うまくいかなかった。前の学校では、生徒指導主事をしていて、どこかでおごりがあったのだろう。そのときに、一番しんどいところを見て指導することの大切さを感じた。できる子をスタンダードにすると、しんどい子は「学校にいきたくない」と思うようになってしまう。また結果にこだわらないことも意識している。新卒の先生とベテランの先生がいたら、当然、しんどいことが予想されるクラスをベテランに、新卒の若い先生には比較的安定したクラスを担当してもらおう。当然、若い先生の方が結果は出やすい。でもベテランの先生が家庭訪問や生徒指導を繰り返しされている姿を見て、当然ベテランの先生の頑張りの方を評価する。その時だけの結果では判断できない。トイレ掃除でも見えるところを磨くのは簡単。でも見えないところに気付き、そこに手を伸ばせるかどうかではないだろうか。

終了後、トイレには清々しい空気が流れていました。そして参加いただいた皆さんの晴れやかな笑顔。掃除をしたら、空気感が変わることを参加者は感性を持って感じていただいたように思います。そして明日からの子どもとの接し方にも変化があるのではないのでしょうか。「あれ、今日の先生、なんだか違う…」。子どもはきっとそう感じることでしょう。大人には分からない変化を子どもはしっかりと感性で受け取っているのですから。次回は、5月17日(日)を予定。同じく勝山中学校でさせていただこうと考えています。皆さんとトイレ掃除ができることを楽しみにしております。(小笹大道)

